

本学卒業生によるミニ講演会

『お坊さんと警察官の二つの顔を持つ、卒業生の今』

今回ご講演いただく西林広貴さんは、実家のお寺を継ぐため、在学中に住職の資格を取得され、6年前に本学ドイツ語学科を卒業されました。卒業後は、一般企業に就職された後、現在は大阪府警本部で勤務されております。

このミニ講演会では、お坊さんの道から、営業マンを経て、なぜ警察官になったのか、興味をもったことに対する挑戦心の大切さなどを中心にお話していただきます。卒業後の進路について興味をお持ちの方は是非この機会に卒業生から話を聞き、気軽にいろいろ質問してみてください。飲食物持ち込み OK です。

日時：2018年7月20日（金）12時50分～13時40分

会場：141教室

主催：京都外国語大学ドイツ語学科、キャリアセンター

入場無料、申し込み不要です。

<西林広貴さんの略歴>

- ・平成元年 大阪府羽曳野市生まれ、現在 29 歳
- ・浄土真宗本願寺派のお寺の長男
- ・小学校まで 8 年間ピアノを習う
- ・小・中学校はサッカーに没頭
- ・大阪・上宮高校在学中に僧侶（お坊さんになる）資格を取得
- ・平成 20 年、京都外国語大学ドイツ語学科入学
在学中に、住職の資格を取得
- ・大学卒業後、平成 24 年から約 4 年間大阪の会社勤務
- ・平成 28 年 4 月大阪府警察官に
- ・平成 30 年 4 月大阪府警察本部広報課勤務